

国営備北丘陵公園の基本情報

基本情報

名称	国営備北丘陵公園
種別	イ号国営公園
所在地	広島県庄原市三日市町4-10
事業着手年度	昭和57年度
供用開始年度	平成7年度
公園管理者	中国地方整備局
敷地面積	約339ha
入園者数	46.4万人（令和4年度）
概要	国兼池とアカマツ林の丘陵地約340ha(東西約3.5km、南北約1km)に、中国地方全体からの誘客を目指してつくられた、中国地方では初めての国営公園



図：公園の位置（広域）

沿革

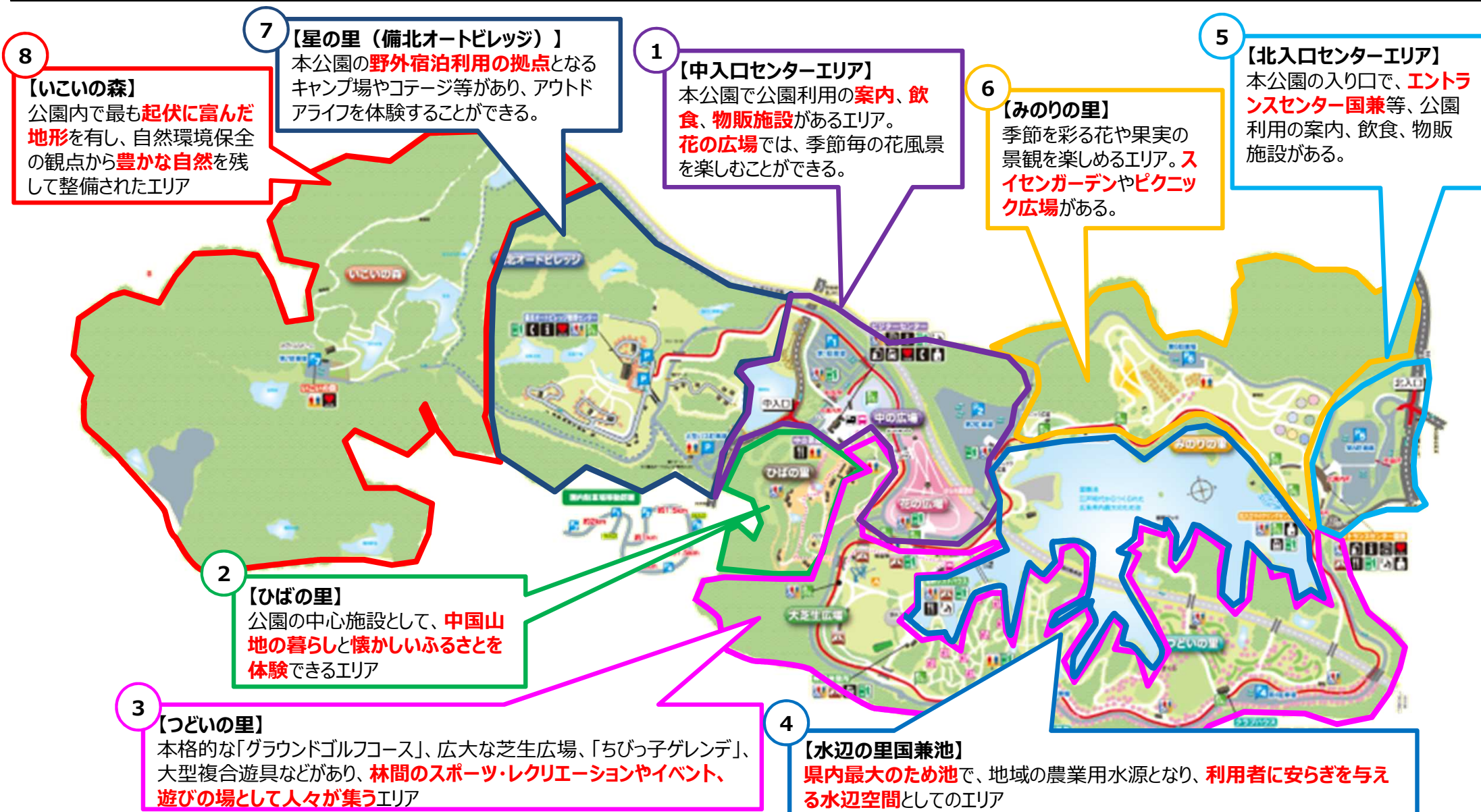
時期	沿革
昭和57年	事業化
昭和60年	都市計画決定
平成3年	工事着手
平成7年	中入口センターエリア・ひばの里等供用開始（供用面積約80ha）
平成11年	星の里（オートビレッジ）等供用開始（供用面積約47ha）
平成14年	第二駐車場供用開始（供用面積約3ha）
平成15年	つどいの里（グラウンドゴルフコース等）供用開始（供用面積約49ha）
平成20年	北入口センターエリア・みのりの里供用開始(供用面積約43ha)
平成22年	みのりの里供用開始(供用面積約7ha)
平成24年	いこいの森供用開始（供用面積約109ha）【全園開園：334ha】



図：公園の位置（周辺拡大）

国営備北丘陵公園の公園内のエリア

本公園は、基本方針に基づき、8つのエリア（①中入口センターエリア、②ひばの里、③つどいの里、④水辺の里国兼池、⑤北入口センターエリア、⑥みのりの里、⑦星の里（備北オートビレッジ）、⑧いこいの森）が設定されている。



国営備北丘陵公園の基本理念・基本テーマ・基本方針

本公園は、周辺環境との調和と連携を図り、森と湖に囲まれた緑豊かな自然の中で、中国地方の歴史や文化のふれあいや多様なレクリエーション活動を通じて、人間性の回復と向上の場となるような公園とする。

基本理念

- ① 緑豊かな自然へのいざない
- ② 中国地方の歴史や文化とのふれあい
- ③ 多様なレクリエーションへのしたしみ
- ④ 周辺環境とのつながり

基本テーマ

- ・ 「ふるさと・遊び」

基本方針

- ① 国兼池を中心とした湖畔景観や、丘陵景観等の自然を生かした公園
- ② 中国地方の古い文化の継承や、新しい文化をはぐくむことのできる公園
- ③ 四季にわたる多様なレクリエーションに対応できる公園
- ④ 中国地方の全域から利用できる公園
- ⑤ 地域とのふれあいのできる公園